

2024 年 1 月 6 日作成 Ver.1.1

《情報公開文書》

仮想平面投影画像（Planar 像）による ATTR 心アミロイドーシス定量評価の検討

研究の概要

【背景】ATTR 心アミロイドーシスは、高齢者の原因不明の心不全の一角を占める頻度の高い疾患です。その診断には核医学検査による骨シンチグラフィを行い、平面投影画像(Planar 像)と断層像（SPECT）による視覚的判断、および Planar 像による心/対側肺野比（H/CL）を測定する定量的判断の2つが併用されますが、Planar 像の撮影には 5～10 分、SPECT の撮影には 20～30 分と長い時間が必要です。近年技術進歩により SPECT から仮想的な Planar 像が作成できるようになりました。この仮想 Planar 像から得られる H/CL が従来の Planar から得られる H/CL を置き換えることが出来れば、検査時間が短縮され、患者さんの肉体的負担が少なくなります。

【目的】従来の Planar 像から得られる H/CL（real H/CL）が仮想 Planar 像から得られる H/CL（virtual H/CL）を置き換えることが出来るかどうかを検証します。

【意義】virtual H/CL が real H/CL を置き換えることが出来れば、従来の Planar 画像撮影が省略でき、検査時間の短縮につながります。

【方法】SPECT 画像から仮想 Planar 像を作成します。従来の Planar 像と仮想 Planar 像からそれぞれ H/CL（real H/CL、virtual H/CL）を測定し、その一致率、相関を求めます。また、ATTR 心アミロイドーシスの最終診断と、real H/CL、virtual H/CL の一致率を検討します。

対象となる患者さん

長崎大学病院で仮想 Planar 画像が作成可能となった 2023 年 10 月 23 日以降、2024 年 12 月 27 日までに、ATTR 心アミロイドーシスの診断目的で骨シンチグラフィを撮影されたすべての患者さん

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録及び診療画像サーバーより収集します。

- 患者背景：性別、年齢、心不全症状の有無
- 心エコー検査：ATTR 心アミロイドーシスを疑わせる心筋輝度上昇の有無
- 心 MRI 検査：ATTR 心アミロイドーシスを疑わせる T1 信号強度の変化
- 心 CT 検査：ATTR 心アミロイドーシスを疑わせる遅延造影の有無
- 最終診断（臨床的）：病理学的最終診断がない場合、臨床的に ATTR 心アミロイドーシスと診断されたかどうか
- 病理組織：病理学的な心筋 ATTR アミロイドないしは心外組織の ATTR アミロイド沈着の有無

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください	
情報の利用開始予定日	
本研究は 2025 年 1 月 30 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。	
あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。 ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。 あらかじめご了承ください。	
研究実施期間	
研究機関長の許可日～2026 年 12 月 31 日	
研究実施体制	
研究責任者	所属：長崎大学 原爆後障害医療研究所 アイソトープ診断治療学研究分野（長崎大学病院 PET 分子イメージングセンター） 氏名：工藤 崇 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-12-4 電話：095（819）7101
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	
【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】 長崎大学 原爆後障害医療研究所 アイソトープ診断治療学研究分野 工藤 崇 〒852-8523 長崎市坂本 1 丁目 12 番 4 号 電話：095（819）7101 FAX 095（819）7104	
【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200 受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）	